

Tips: 参考資料の提示 (書籍、論文、URL)

Copyright © EMIT Japan Corporation

概要

WebCT では、コンテンツモジュールを利用して講義内容を作成します。コンテンツモジュールには、作成したコンテンツページの内容に関する参考資料¹のどの部分を見ればいいのかまで詳細に示すための「リファレンス」というツールが用意されています。

「リファレンス」ツールを利用するにはまず、「リソースバンク」に登録する必要があります。一度「リソースバンク」に登録すると、どのコンテンツページからも利用できるようになります。あるコンテンツページでは、「 の XX ページを参照」、あるコンテンツページでは、「 の YY ページを参照」と参考資料の指定場所だけ変更して提示することができます。

この Tips は以下の内容を含んでいます。

リソースバンクとリファレンス

参考例 : 書籍のリファレンス登録

リソースの編集・削除

リファレンスの編集・削除

補足事項



図 1 : リファレンスの例

¹ WebCTでいう参考資料というのは「書籍」「論文」「URL」のことを指します。この3つの分類に属さないようなOfficeのファイルへの参照を作成したい場合は「リンク」というツールを利用してください。詳しくは、別 Tips: 「コンテンツページでリンクを作成する」をご覧ください。

リソースバンクとリファレンス

リソースバンクにリソースを登録しておき、「キーワード」をキーに選択し参照箇所を加えたものがリファレンスです。リファレンスにすることによって、コンテンツページのアクションメニューから参照させることができます。

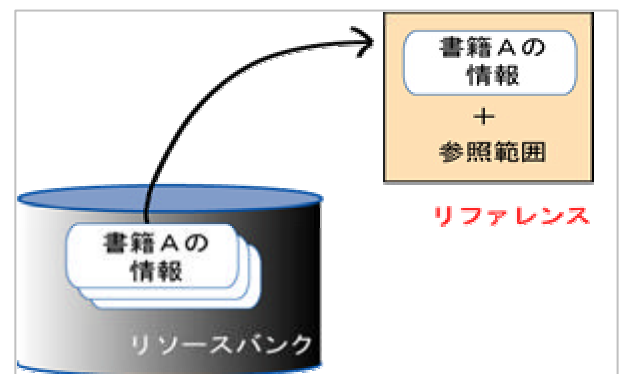


図 2 : リソースとリファレンス

リソースバンク

「書類」、「論文」、「URL」が登録可能です。

リファレンスとしてコンテンツページに登録する際に、「キーワード」を一意的キーとして選択するので、わかりやすいキーワードを登録しましょう。

リソースバンクに登録する情報は以下の通りです。

表 1 : リソースバンクに登録できる項目

(が必要。 は任意で追加可能。 - は追加できない。)

	書籍	論文	URL
キーワード			
タイトル			
出版社		-	-
フィールド名		-	-
画像			
作成者			
年 / 版		-	-
フィールド番号			
論文誌名	-		-

フィールド名	-		
年/巻/号	-		-
URL	-	-	
説明文	-	-	

リファレンス

リソースバンクに登録したリソースを「キーワード」をもとにして選択します。選択したリソースに以下の情報を付加することができます。参照範囲と参照単位は組み合わせで記入してください。

表 2：リファレンスで設定できる項目

参照単位を選択しても参照範囲が空欄だと、リファレンスには反映されません。

参照単位		参照範囲
右の5つから選択	ページ	自由記述 (例) 35-43 など。
	節	
	章	
	部	
	(なし) ²	

参考例：書籍のリファレンス登録

準備

「コンテンツページ」が作成されているコンテンツモジュールを用意しておきます。また、リファレンスとして登録する内容を用意しておきます。今回は、以下の内容を利用します。

「リソース」	
* キーワード	: 事例集
* タイトル	: 「WebCT活用事例集」
* 作成者	: エミット のぞみ
* 出版社	: E J 出版
* 年	: 2003
* 版	: 初版
* フィールド名	: 第
* フィールド番号	: 1 巻
「リファレンス」	
* 参照単位	: 章
* 参照範囲	: 2

² 「なし」を選択すると、参照範囲に記入していても、リファレンスには反映されません。

手順

1. リソースバンクに登録
2. リファレンスとして登録
3. 学生ビューの更新

1. リソースバンクに登録

1. リファレンスを作成したいコンテンツページを編集モードで表示します。
2. 「メインオプション」の下で、「リファレンス」を選択し Go をクリックします。コンテンツページ用リファレンス画面が表示されます。
3. 画面上部に表示されている「リソースバンク」リンクをクリックします。コンテンツページ用リソース画面が表示されます。
4. 「リソースの追加」の下で、追加するリソースの種類に「書籍」を選択します。Go をクリックします。リソースの追加：書籍画面が表示されます。
5. 必要事項を記入します。最後に追加をクリックします。再びコンテンツページ用リソース画面が表示されます。「リソース一覧」の下に、追加したリソースが追加されていることを確認します。

図 3：「リソースの追加：書籍」画面

2. リファレンスとして登録

1. コンテンツページ用リソース画面を表示していることを確認します。
2. 画面上部に表示されている「リファレンス」リンクをクリックします。コンテンツページ用リファレンス画面が表示されます。
3. 「リファレンスの追加」の下で作成したリソースの「キーワード」を選択します。今回の場合は、「事例集」です。(図 4 参照)
4. 最後に追加をクリックします。リファレンスの追加画面が表示されます。

- 参照範囲を指定したい場合は「参照単位」と「参照範囲」を設定します。³
- 最後に**追加**をクリックします。コンテンツページ用リファレンス画面が表示されます。
- 「リファレンス一覧」の下にリファレンスが追加されていることを確認します。



図 4 : リファレンスを追加する画面

3. 学生ビューの更新

- 画面上部にある「<ページタイトル名>に戻る」をクリックします。コンテンツページの編集画面が表示されます。
- 画面上部の「学生ビューを更新」をクリックします。コンテンツページの学生ビューの更新画面が表示されます。
- 「テキスト、カラー、アクションメニューへの変更だけを更新」を選択し**更新**をクリックします。学生ビューの更新結果画面が表示されます。
- 最後に、「<ページタイトル名>に戻る」をクリックしてコンテンツモジュールに戻ります。
- リファレンスを追加したコンテンツページを表示モードにしてアクションメニューに追加されているかを確認します。

リソースの編集・削除

リソースの編集・削除の手順です。必要に応じて操作してください。

³ 同じリソースで参照単位を複数設定したい場合は 3.~4.の作業を繰り返します。
例えば 2章の15ページ~30ページを設定したい場合：
一度目は参照単位：ページ 参照範囲：15-30
二度目は参照単位：章 参照範囲：2

編集

- コンテンツページ用リソース画面を表示します。
- 「リソース一覧」の下で、編集を行うリソースの左にあるチェックボックスにチェックをいれます。⁴
- 「他のオプション」の下で「編集」を選択して **Go** をクリックします。リソースの編集画面が表示されます。
- 必要に応じて編集を行います。最後に**更新**をクリックします。再びコンテンツページ用リソース画面が表示されます。
- 4.で編集した内容が「リソース一覧」の下に表示されていることを確認します。

削除⁵

- コンテンツページ用リソース画面を表示します。
- オプションを選択し **Go** をクリックします。
 - 数個のリソースのみ削除
「リソース一覧」の下で削除を行うリソースの前にあるチェックボックスにチェックをいれます。「他のオプション」の下で「削除」を選択します。
 - すべてのリソースを削除
「他のオプション」の下で「リセット」を選択します。
- 確認ダイアログが表示されますが **OK** をクリックすると、再びコンテンツページ用リソース画面が表示されます。指定したリソースまたは、すべてのリソースが削除されていることを確認します。

リファレンスの編集・削除

リファレンスの編集・削除の手順です。必要に応じて、操作してください。

編集

- コンテンツページ用リファレンス画面を表示します。
- 「リファレンス一覧」の下で、編集を行うリファレンスの前にあるチェックボックスにチェックをいれます。⁶
- 「他のオプション」の下で「編集」を選択して **Go** をクリックします。リファレンスエディタ画面が

⁴ 一度に編集を行うことができるリソースは、1つのみです。
⁵ リソースを削除すると、そのリソースを利用しているリファレンスも同時に削除されます。
⁶ 一度に編集を行うことができるリソースは、1つのみです。

表示されます。

4. 必要に応じて編集を行います。最後に更新をクリックします。再びコンテンツページ用リファレンス画面が表示されます。
5. 4.で編集した内容が「リファレンス一覧」の下に表示されていることを確認します。

削除

1. コンテンツページ用リファレンス画面を表示します。
2. オプションを選択しGoをクリックします。
 - 数個のリファレンスのみ削除
「リファレンス一覧」の下で削除を行うリファレンスの前にあるチェックボックスにチェックをいれます。
「他のオプション」の下で「削除」を選択します。
 - すべてのリファレンスを削除
「他のオプション」の下で「リセット」を選択します。
3. 確認ダイアログが表示されますが、OKをクリックすると、再びコンテンツページ用リファレンス画面が表示されます。指定したリファレンスまたは、すべてのリファレンスが削除されていることを確認します。


補足事項

補足

- 一度リソースバンクに登録すると、同じコース内の別のコンテンツモジュールでも利用可能になります。
- リソースにつけるキーワードは、リソースの種類が違って同じキーワードをつけることはできません。
- リソースに画像を利用している場合、リファレンス画面では、画像サイズを本来のサイズで表示するのでスタイルが壊れることがあります。

既知のバグ

- リファレンスを表示モードでみたとき、参照部分について語順が間違っ表示されます。
(例)
「25～37 ページを参照」の場合、
「を参照 ページ 25～37」と表示されます。



タイトル: WebCT活用事例集
著者: エミット のぞみ
出版社: EJ出版
発行年: 2003
版: 初版
第: 1巻
を参照 ページ 25～37

図 5 : リファレンス画面
語順が間違っている。

この Tips は以下の環境で確認しました。

サーバ : WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3
クライアントOS : WindowsXP
クライアントブラウザ : IE6.0SP1

(2003年10月15日 瀧 美渚子作成)